

Q & A

Q 英語外部試験のスコアを持っていないと立教大学には出願できないのでしょうか？

A 一般入試の全学部日程5試験日には、英語外部試験のスコアまたは大学入学共通テスト(以下、「共通テスト」)の「英語」得点のいずれかがあれば出願することができます。文学部を対象とした1試験日(試験日⑥)では本学独自の英語試験が課されます。一方、共通テスト利用入試では、スコアを持っていないとも、共通テストの「外国語」を受けることにより立教大学への出願が可能です。スコアを提出した場合はスコアを得点換算し、共通テストの「外国語」の得点とどちらか高得点の方を合否判定に採用します(一般入試全学部日程も同様)。

Q 英語外部試験のスコアの最低基準はありますか？

A ありません。2020年度入試までは4技能合計と技能ごとの最低スコア基準を設定していましたが、一般入試、共通テスト利用入試ともに2021年度からはこれらの最低スコア基準をすべて撤廃します。対象となる7種類の英語外部試験のスコア(入試実施月から遡って2年以内のもの)を持ってさえいれば、そのスコアは有効ということになります。

Q 英語外部試験はどの試験が有利ですか？

A ケンブリッジ英語検定、実用英語検定(英検)、GTEC、IELTS、TEAP、TEAP CBT、TOEFL iBTの7種類が利用可能ですが、有利・不利が生じないよう、統計的処理を施します。また、何種類かスコアを持っている人は、複数のスコアを使って出願することができます。その場合は、最も高得点に換算されるスコアを合否判定に採用します。

Q 共通テストの他に大学独自の試験も受験の必要があるのでしょうか？

A 共通テスト利用入試は、全ての学部について共通テストの成績のみで合否判定しますので、立教大学独自の試験を受ける必要はありません。よって、地元で受けることができます。

Q 一般入試の問題は大きく変わるのですか？

A 立教大学の入試問題は教科書の範囲から出題することを原則としています。高校の学習指導要領(教科書の内容)は2022年度から改訂されることになっていますが、それまでは変わりません。よって、出題範囲はこれまでと変わらず、教科書の内容を十分に理解することが大切です。

Q 一般入試の各科目の試験時間、配点はどのようになりますか？

A 大学HPをご覧ください。確定次第、情報を更新します。
<https://www.rikkyo.ac.jp/admissions/undergraduate/notices.html>



Q 一般入試で複数学部を併願することができますか？

A 一般入試では1試験日につき、1つの学科(専修)を選択し出願することになります。よって試験日ごとに同じ学部を受けることもできれば、異なる学部を受けることもできます。

Q 共通テストの記述式問題は活用するのでしょうか？

A 現時点では活用する予定です。

Q 共通テスト利用入試では、「英語」以外の外国語も使えますか？

A 「英語」以外の外国語科目も選択可能です。さらに英語外部試験のスコアを提出した場合、「英語」以外の外国語科目の得点とどちらか高得点の方を合否判定に採用します。



RIKKYO UNIVERSITY 2021

立教の2021年度入試が大きく変わります。

もっと英語を！ カリキュラムが変わる。

1年次から英語ディベート科目を必修化
「英語を学ぶ」から「英語で学ぶ」へ。

1年次は必修科目、週3回の授業で英語4技能を総合的に学びます。秋学期の1クラス20名の英語ディベート科目(2020年度開講)では「英語が話せる」にとどまらず、批判的かつ論理的に考える力、情報を集めて活用する力、他者と建設的に話し合う力などを鍛えます。そして2年次以降はCLIL(内容言語総合型学習)を導入し専門領域の内容を英語で学ぶ基礎を身につけます。



立教大学 入試情報ページ

こちらもあわせてご覧ください。

<https://www.rikkyo.ac.jp/admissions/>



お問い合わせ先

立教大学入学センター

TEL: 03-3985-2660 FAX: 03-3985-2944



立教大学
RIKKYO UNIVERSITY

掲載情報は2019年11月時点のものです。

時代の半歩先へ、立教大学はさらに進化を続けます。

本学は「21世紀の社会をリードするグローバルリーダーの育成」を目標に掲げ、英語4技能に秀でた学生の入学を促進し、教育を展開していきます。そのため大学入試において、高大接続の観点から4技能を適正に測ることができる民間の英語資格・検定試験(以下、英語外部試験)をすべての入試

方式において活用することが必要であると判断し、全面的に導入することを決定しました。また、一般入試において、同一学科の受験可能日数を増やし、受験機会を大幅に拡大します。

2021年度一般入試 ここがPoint

英語の独自試験を廃止。

「英語」科目は英語外部試験を全面的に導入。大学入学共通テストの英語も利用可能。
※文学部のみ、本学独自の英語試験で受験できる試験日あり。

- Point 1 ● **英語外部試験の最低スコアの設定なし。**
スコアさえあれば出願可能!
- Point 2 ● **2年間が一番いいスコアを提出。**
(試験実施月から2年以内のスコアが有効)
一発勝負を避けるため、有効なスコアの期間を長く設定。
- Point 3 ● **スコアに統計的処理を施し、点数化して合否判定するため、利用する試験によつての有利、不利はなし。**
英語外部試験7種が利用できる。
何種類かスコアを持っている場合は、複数のスコアで出願可能。
※最も高得点に換算されるスコアを合否判定に採用。

利用できる英語外部試験

ケンブリッジ英語検定、実用英語技能検定、GTEC、IELTS、TEAP、TEAP CBT、TOEFL iBT

個別学部日程を廃止(文学部を除く)。

一般入試は全学部日程を5試験日実施。受験機会は最大2回から5回に増加。
※文学部のみ最大6回。

- Point 1 ● **同じ学部・学科(専修)を複数回受験できる。**
一発勝負ではなく、チャンスが広がる。
- Point 2 ● **「英語」は英語外部試験のスコアまたは大学入学共通テストの英語得点を活用。**
本学独自試験の他の2科目と合計した3科目の総点で合否を判定。
- Point 3 ● **文学部のみ、独自の「英語」、「国語」、「選択科目」の3科目による試験日あり。**

新しい一般入試制度の対象学部と実施科目(予定)

入試方式	試験日	学部	科目	英語	国語	選択科目					学部	数学	物理・化学・生物
						日本史	世界史	政治・経済	地理	数学			
英語外部試験を利用する方式	試験日①	文学部	英語外部試験のスコアまたは大学入学共通テストの英語得点を活用	●	●					●	理学部	●	●
	試験日②	異文化コミュニケーション学部		●		●			●	●			
	試験日③	経済学部		●	●	●	※1						
	試験日④	経営学部		●	●	●			●	※2			
	試験日⑤	社会学部		●	●	●							
試験日⑥	法学部	●	●	●									
試験日⑦	観光学部	●	●	●									
試験日⑧	コミュニティ福祉学部	●	●	●									
試験日⑨	現代心理学部	●	●	●									
本学独自の英語試験を出題する方式	試験日⑩	文学部		●	●	●							

※1 「政治・経済」は文学部以外の学部が対象
※2 「地理」は経済・経営・法学部以外の学部が対象
※「日本史」「世界史」「数学」は全学部対象

一般入試 受験のモデルケース



大学入学共通テスト利用入試 ここがPoint

現行の大学入試センター試験利用入試から大きな変更なし。

- Point 1 ● **大学入学共通テストの成績のみ**で合否を判定。
受験する学部・学科(専修)により、3科目型、4科目型、6科目型で実施。
- Point 2 ● **英語外部試験のスコアを提出した場合、スコアを得点換算し、大学入学共通テストの「外国語」の得点とどちらか高得点の方を合否判定に採用。**

※共通テスト利用入試は、複数学科、複数科目型(3科目型、4科目型、6科目型)併願可能

新制度 <2021年度入試以降>



大学入学共通テスト利用入試

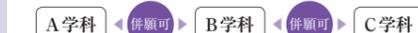
※現行の大学入試センター試験利用入試から大きな変更なし

- 地元で受験可能
- 英語外部試験のスコアなしでも出願可能
- 国立大学との併願がしやすい

学科・専修により異なる3パターン



学科(専修)はいくつでも併願可



同一学科(専修)内で異なる科目型の併願可



「英語」について

英語外部試験のスコアを提出した場合、スコアを得点換算し、大学入学共通テストの「外国語」の得点とどちらか高得点の方を合否判定に採用。

現行 <2020年度入試まで>

